

尚綱大学生によるレポート 19

今回は、社会学概論の受講生約20名で大津町議会12月定例会を傍聴し、意見交換、ディスカッションを行いました！

LINEを利用して大津町のイベント情報を発信していくという取り組みは、若者にも情報が伝わりやすくなるので、町の活性化にも繋がるのではないかと感じた。

(緒方)



大津町の情報を発信しているフェイスブックを見ている人は少ないため、運用を見直す必要があるという話が印象に残った。また、2020年に向けた民泊補助金を設ける必要があるという提案は、グローバルが進む日本に合った政策が考えられているなど感じた。

(城戸)

学校体育館の開放については、学校教育に支障がない範囲か、火災予防には問題ないか、電力使用量、体育館強度など考えることは多いが、施設がより良く管理されるとともに、明るく省電力なLED電球化が早く実現されるようにしてもらいたいと感じた。

(大橋)

傍聴した議題は、直接的には性差は関係のない内容だったが、女性からの要望について審議する際、男性が女性の意見に寄り添えるのかと疑問に思った。

(猪本)



全体の感想

議会の傍聴をするのは初めてでしたが、その町がどんなことに取り組んでいるのか、予算はどのくらい組み込まれているのかを実は簡単に知ることができるのだと感じました。

私たちの少し上くらいの20代の議員さんがいないことには驚きましたが、今議員をされている方々には頑張ってほしいなと思います。大津町議会を傍聴してみて、自分の町の議会にも参加し、住んでいる町の現状や課題に関心を向きたいと思いました。